

2019 年度 24 時間ホームケアえごた 事業報告

24 時間ホームケアえごた

管理者 高橋貞子

【事業目的】

- ① 利用者一人ひとりの方の「生活の質」「生命の質」「自己決定」「あたりまえの生活欲求」の実現をめざすことをサービス提供の目的にして取り組んでいきます。
- ② 住み慣れた家で、自分らしく安全で安心できる心のこもったケアに努めます。
- ③ 職員の人材育成と安心して働ける職場をつくっていきます。
- ④ 要介護状態にある高齢者に対し、適正な指定訪問介護を提供します。
- ⑤ 稼働を上げるために、新規利用者確保のアプローチを行います。

【事業活動報告】

- ① 個々のニーズに合ったサービスの提供と「業務チェック・介護技術チェック・虐待の芽チェック」をしていき自身や同僚の介護の振り返りをしていきます。
→職員同士のサービス提供内容についての話し合いは密に出来ており、よりよいケアにつながっている。しかし会議やミーティングを職員全員で開催する時間が取れなかったため基本的な研修ができませんでした。
- ② 多職種との連携を強化し、接遇にも力を入れていき信頼関係をつくっていきます。
→連携先の訪問看護事業所や支援事業所と密に連絡を取り合うことで信頼関係を築きケアに活かすこともでき、新規の依頼につながっている。
- ③ 職員ひとりひとりの研修計画を立てスキルを向上させます。そして、定巡の事業内容の把握がきるように職員間の情報共有に努めます。
→職員が定着されず研修の時間が取れていません。定巡の事業内容についてはひとりひとりが考え提案しそれを職員間で話し合い情報共有しています。
- ④ 自己点検シートを活用し年一回事業の見直しをしていきます。
→医療・介護連携推進会議の第 1 回が 1 月末開催だったため、自己点検シートの評価を活用した振り返りができていません。
- ⑤ 居宅事業所に出向き定巡の説明をしていき稼働を上げていきます。
→事業開始時に第 1 回目を開催したが、参加人数は少なかった。次年度は内容を変えて実施する予定です。

【事業実績】

平均介護度 3・月/利用者数 12 名

→職員不足により利用者を増やすことができなかった。

【会議開催報告】

- ・介護・医療連携推進会議：年4回
→事業開始が9月になり、1月に1回のみ開催できた。
- ・職員会議：毎月
→職員の定着が難しくできていません。
- ・管理者会議：毎月
→事業所の業務対応により参加できなかった月もあった。

【研修実施報告】（訪問サービスえごたと合同での実施）

日 付	研 修 内 容	講 師
4 月	法人・事業所 2019 年度事業計画について	高橋
5 月	緊急時の対応について	
6 月	食中毒予防について	
7 月	身体介護実践研修	
9 月	認知症について	
10 月	感染症対策について	
11 月	災害時について	
12 月	プライバシー保護について	
1 月	2019 年度振り返り研修	
2 月	接遇について	
3 月	人権擁護と虐待防止研修	

→職員入職時の対応にとどまりました。